

<<エクスカーションについて>>

(1) エクスカーションとは

❖ Excursion 巡検 現地を歩いて確かめる小旅行。学術的な内容の遠足。

従来型の見学会や視察とは異なり、訪れた場所で案内人の解説に耳を傾けながら

参加者も意見を交わし、地域の自然や歴史、文化と共に社会資本を学び考え、理

解を深めていただく「体験型の見学会」の事

❖ 現地踏査を重要視する学問分野で、地理学・地質学・土木学・林学などが教材

❖ 社会人研修、総合学習、環境学習、生涯学習で注目されている。

(2) 意義

❖ 地域の自然と人の関係を、社会基盤を中心に再発見する。

❖ 単なる観光ではなく、丁寧な解説と行程組みにより、総合的に地域を見られる。

❖ 行程全体が、ストーリー性があり、全体像を把握できる。

❖ 土木関係者が、仕事のやりがいを改めて発見。長期的な責任のある仕事に従事している自覚が形成される。

❖ 国際的に地域を案内するプログラムになりえる。

(3) 日光での実施

❖ 日光コースの提案

観光地として一度は訪れた人も多い日光を、土木学の観点から見直す1日の旅である。

多くの人々が日光を訪れる背景には、人間がアクセスし快適に過ごせるための、土木学の叡智が結集されている。いろは坂、中禅寺湖、日光市街地が保全されている裏舞台を見つめる。

神橋を見学 * 神橋の由縁と修復工事の概要の説明を受けました。残念ながら下からは見れませんでした。が、歴史を聞いてから改めてみるとすごい橋ですね。



明智平にて * 男体山と中禅寺湖というは坂を見渡しながら、いろは坂で栃木県が行っている工事の内容、また地形からみた日光の特性の話をお聞きしました。

中禅寺ダム * 中禅寺湖から流れ出る大谷川にあるダムの管理の話をお聞きしました。中禅寺湖にダムがあったとは知らなかった人も多かったようです。



自然博物館にて * 水産総合研究センターの東さんより研究センターで研究されている内容について説明をお聞きしました。

華厳の滝にて * 華厳の滝の横で斜面の崩落を抑える工事を行っていました。地中からの工事であったため表面には見えない工事でしたが、有料見瀑台より工事の跡が少しだけ・・・？バスの中でみた工事内容が納められたDVDも面白かったです。



いろは坂 * 第一いろは坂(下り)で最近施工した現場(23カーブ)をみせていただきました。道が狭いのでカーブの拡幅工事をおこなっているそうです。

大谷川橋の上で*国道120号と国道122号の分岐付近に大谷川橋があります。そこでは大谷川に水が流れていませんでした。上流の華巖の滝と下流の神橋付近では水が流れていたのに中間の大谷川橋付近では水が伏流しているため見えないそうです。



出発前



出発前



神橋



明智平



華巖の滝



華巖の滝

平成20年エクスカージョン日程表

開催日 平成20年12月3日(水)

タイムスケジュール	見学内容	備考
7:30	JR 小山駅出発(10名)	東武日光駅にて挨拶 清野助教・伊勢
8:30	JR 宇都宮駅出発(28名)	
9:30	東武日光駅(29名)出発	
9:45~ 10:15 バス移動	神橋見学 神橋について	説明者;伊勢 説明者;末武教授
10:45~ 11:15 バス移動	明智平にて 日光の火山地形の全体像を把握 いろは坂全体の保全工事の概要・対策箇所数・工法の選択理由	説明者;清野助教 説明者;日光土木 道路保全課 松本主査
11:30~ 12:00 徒歩移動	中禅寺ダム見学 施設の歴史・役割・管理方法・水量調整方法等の説明	説明者;日光土木 河川砂防課 和氣副主幹 星係長
12:00~ 13:00	昼食(栃木県立日光自然博物館2F)	
13:00~ 14:00 徒歩移動	講義 「奥日光湖沼域の魚たちとその生息環境について」(同自然博物館)	説明者;水産総合研究センター 育成生理研究室 東 照雄
14:15~ 15:00 バス移動	華厳の滝見学 砂防工事経緯・目的・水利用と滝の水量調節等の説明(図面写真)後、 エレベータにて有料観瀑台へ。現場下部より見学。アンカー削孔跡	説明者;日光土木 河川砂防課 吉野副主幹
15:30~ 16:00 バス移動	いろは坂工事現場見学 第1いろは坂にて対策箇所の見学(図面写真) バス降車可能であれば降車	説明者;日光土木 道路保全課 松本主査
16:15~ 16:45 バス移動	大谷川河畔見学 大谷川の水利用と維持管理について R122号大谷川橋上より大谷川見学	説明者;清野助教 説明者;日光土木 河川砂防課 和氣副主幹 星係長
17:00	東武日光駅到着	
18:00	JR 宇都宮駅	
18:45	JR 小山駅	

東京大学大学院総合文化研究科 清野^{せいの}聡子^{さとこ} 先生のご紹介

<工学博士(環境工学)・農学修士(水産学)>

これまで世界水フォーラムにおけるエクスカージョン・野外教育プログラム・地域講座等の実績多数。生物・地域社会の観点から各地の地域・沿岸再生の研究計画に取組む。土木学会海岸工学委員会、同環境システム委員会委員。その他応用生態工学会、日本水産学会、日本海洋学会、沿岸環境関連学会連絡協議会の環境分野の委員をはじめ、国土交通大学校・地方自治体・東京大学教育学部・各地のNPOなどでもエクスカージョンの講師を行う。